

工芸高等学校校定時制 令和5年度 教科：（インテリア）科目：（工業技術基礎） 年間授業計画

教科：（インテリア）科目：（工業技術基礎）

単位数：（3）単位

対象：（第 1 学年I科）

教科担当者：

使用教科書：（工業技術基礎、木材加工系実技教科書）

使用教材：（プリント）

	指導内容	科目の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	・製図 線の練習、文字の練習 ・造形 立体模型 ・木工 基礎的な加工	・製図 説明を聞き、キレイな線が引ける。また、文字もキレイに書ける。 ・造形 模型道具を使用し、模型が作れる。 ・木工 木材加工における基礎的な加工ができる。	<p>[評価の観点] 授業態度、教員の発問に対する受け答え、自発的な質問、課題の提出状況などを総合的に判断し、3観点により評価をする。 ・知識・技能 ・思考・判断・表現 ・主体的に学習に取り組む態度</p> <p>[評価方法] 1. 制作に取り組む態度 2. 学習内容の理解 3. 作品の完成度 4. 作品の提出状況</p> <p>等を総合的に考慮して評価を行う。</p>	1
5月	・製図 線の練習、文字の練習 ・造形 立体模型 ・木工 基礎的な加工	・製図 説明を聞き、キレイな線が引ける。また、文字もキレイに書ける。 ・造形 模型道具を使用し、模型が作れる。 ・木工 木材加工における基礎的な加工ができる。		9
6月	・製図 線の練習、文字の練習 ・造形 立体模型 ・木工 基礎的な加工	・製図 説明を聞き、キレイな線が引ける。また、文字もキレイに書ける。 ・造形 模型道具を使用し、模型が作れる。 ・木工 木材加工における基礎的な加工ができる。		9
7月	・製図 線の練習、文字の練習 ・造形 立体模型 ・木工 基礎的な加工	・製図 説明を聞き、キレイな線が引ける。また、文字もキレイに書ける。 ・造形 模型道具を使用し、模型が作れる。 ・木工 木材加工における基礎的な加工ができる。		5
8月				
9月	・製図 線の練習、文字の練習 ・造形 立体模型 ・木工 基礎的な加工	・製図 説明を聞き、キレイな線が引ける。また、文字もキレイに書ける。 ・造形 模型道具を使用し、模型が作れる。 ・木工 木材加工における基礎的な加工ができる。		8
10月	・製図 線の練習、文字の練習 ・造形 立体模型 ・木工 基礎的な加工	・製図 説明を聞き、キレイな線が引ける。また、文字もキレイに書ける。 ・造形 模型道具を使用し、模型が作れる。 ・木工 木材加工における基礎的な加工ができる。		9
11月	・製図 LDK図面 ・造形 立体模型 ・木工 手道具管理	・製図 説明を聞き、建築図面が書ける。 ・造形 模型道具を使用し、創意工夫した模型が作れる。 ・木工 道具の保守・点検をすることができる。		6
12月	・製図 LDK図面 ・造形 立体模型 ・木工 手道具管理	・製図 説明を聞き、建築図面が書ける。 ・造形 模型道具を使用し、創意工夫した模型が作れる。 ・木工 道具の保守・点検をすることができる。		7
1月	・製図 家具図面 ・造形 立体模型 ・木工 手道具管理	・製図 第三角法の三面図が書ける。 ・造形 模型道具を使用し、創意工夫した模型が作れる。 ・木工 道具の保守・点検をすることができる。。		6
2月	・製図 家具図面 ・造形 立体模型 ・木工 手道具管理	・製図 第三角法の三面図が書ける。 ・造形 模型道具を使用し、創意工夫した模型が作れる。 ・木工 道具の保守・点検をすることができる。。		6
3月	・製図 家具図面 ・造形 立体模型 ・木工 手道具管理	・製図 第三角法の三面図が書ける。 ・造形 模型道具を使用し、創意工夫した模型が作れる。 ・木工 道具の保守・点検をすることができる。。		6

工芸高等学校校定時制 令和5年度 教科：（インテリア）科目：（工業情報数理） 年間授業計画

教科：（インテリア）科目：（工業情報数理）

単位数：（2）単位

対象：（第 1 学年I科）

教科担当者：

使用教科書：（工業情報数理 ）

使用教材：（プリント ）

	指導内容	科目の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	・PC基本操作 ・産業社会と情報技術	・タイピング練習 ・(1)コンピュータの歴史 (2)情報技術の発展と産業社会	<p>[評価の観点] 授業態度、教員の発問に対する受け答え、自発的な質問、課題の提出状況などを総合的に判断し、3観点により評価をする。 ・知識・技能 ・思考・判断・表現 ・主体的に学習に取り組む態度</p> <p>[評価方法] 1. 制作に取り組む態度 2. 学習内容の理解 3. 作品の完成度 4. 作品の提出状況</p> <p>等を総合的に考慮して評価を行う。</p>	4
5月	・word、Excelの基本操作 ・産業社会と情報技術	・Word、Excelの基本操作を解説し、理解させる。 ・(3)コンピュータでの情報表現と情報デザイン (4)情報セキュリティ		5
6月	・word、Excelの基本操作 ・コンピュータシステム	・Word、Excelの基本操作を解説し、理解させる。 ・(1)ハードウェア (2)ソフトウェア (3)ネットワーク		6
7月	・word、Excelの基本操作 ・コンピュータシステム	・Word、Excelの基本操作を解説し、理解させる。 (3)ネットワーク (4)データベース		3
8月				
9月	・Illustrator、Photoshopの基本操作 ・数値処理	・Illustrator、Photoshopの基本操作を解説し、理解させる。 ・(1)SI単位 (2)計測と精度		6
10月	・Illustrator、Photoshopの基本操作 ・数値処理	・Illustrator、Photoshopの基本操作を解説し、理解させる。 ・(3)コンピュータを活用した数値処理		6
11月	・Illustrator、Photoshopの基本操作 ・数値処理	・Illustrator、Photoshopの基本操作を解説し、理解させる。 ・(4)コンピュータを活用した数値処理		5
12月	・Illustrator、Photoshopの基本操作 ・数値処理	・Illustrator、Photoshopの基本操作を解説し、理解させる。 ・(5)コンピュータを活用した数値処理		4
1月	・Powerpointの基本操作 ・アルゴリズムとプログラミング	・Powerpointの基本操作を解説し、理解させる。 ・(1)プログラミングの基礎		4
2月	・Powerpointの基本操作 ・アルゴリズムとプログラミング	・Powerpointの基本操作を解説し、理解させる。 ・(2)制御プログラミング		6
3月	・発表 ・アルゴリズムとプログラミング	・Powerpointを使用し、発表することができる。 ・(2)制御プログラミング		3

工芸高等学校定時制 令和5年度 教科：（インテリア）科目：（Iエレメント実習I） 年間授業計画

教科：（インテリア）科目：（Iエレメント実習I）

単位数：（3）単位

対象：（第 2 学年I科）

教科担当者：

使用教科書：（木材加工系実技教科書、インテリアエレメント生産等

使用教材：（プリント

	指導内容	科目の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	①木工具の手入れ 鉋の手入れ状況を確認する。 ②木工具の手入れ 鑿の手入れ状況を確認する。	一年次に学んだ木工具の手入れ(刃研ぎ)を理解できる。		3
5月	①図面を読む 三面図による部材の寸法を確認する。 ②墨付け 課題に墨付け道具を使用して、墨付けができる。	①三面図に表記された部材の加工法について理解できる。 ②スコヤ・白書き・罫引きの使い方を理解し、使用することができる。		9
6月	①墨付け 図面を基に墨付け道具を使用して、墨付けができる。 ②加工 墨付けした課題を加工することができる。	①スコヤ・白書き・罫引きの使い方を理解し、使用することができる。 ②木工具の使い殻を理解し、使用することができる。		14
7月	①墨付け 図面を基に墨付け道具を使用して、墨付けができる。 ②加工 墨付けした課題を加工することができる。	①スコヤ・白書き・罫引きの使い方を理解し、使用することができる。 ②木工具の使い殻を理解し、使用することができる。		5
8月				
9月	①柄と柄穴加工 ②棒材のデザインおよび加工	①手加工による基礎的な加工の方法を理解できる。 ②曲線部の装飾箇所をお糸鋸や帯鋸盤の使用法や注意点を理解し、正確に加工ができる。	[評価の観点] 授業態度、教員の発問に対する受け答え、自発的な質問、課題の提出状況などを総合的に判断し、3観点により評価をする。 ・知識・技能 ・思考・判断・表現 ・主体的に学習に取り組む態度	10
10月	①柄と柄穴加工 ②棒材のデザインおよび加工	①手加工による基礎的な加工の方法を理解できる。 ②曲線部の装飾箇所をお糸鋸や帯鋸盤の使用法や注意点を理解し、正確に加工ができる。	[評価方法] 1. 制作に取り組む態度 2. 学習内容の理解 3. 作品の完成度 4. 作品の提出状況	6
11月	①柄と柄穴加工 ②棒材のデザインおよび加工	①手加工による基礎的な加工の方法を理解できる。 ②曲線部の装飾箇所をお糸鋸や帯鋸盤の使用法や注意点を理解し、正確に加工ができる。	等を総合的に考慮して評価を行う。	9
12月	①座面の設計 各自デザインする。 ②座面の製作 各自選択した座面の種類を理解し、適切に加工する。	①座面の種類を理解しデザインできる。 ②座面のデザインや使用感の違いについて理解できる。		8
1月	①組手の加工 手加工による組手の加工法と注意点について解説する。 ②素地調整 加工法によりできた適切な素地調整ができる。	①木口台を使用した基礎的な加工法について理解できる。 ②研磨紙による素地調整ができる。		6
2月	①仮組・接着 各部材を接合し、接着をする。 ②塗装 各部材の塗装をする。	①各部材の接合面の加工状況を把握し、微調整ができる。 ②各部材の加工状況を把握し、塗装ができる。		9
3月	①仮組・接着 各部材を接合し、接着をする。 ②塗装 各部材の塗装をする。	①各部材の接合面の加工状況を把握し、微調整ができる。 ②各部材の加工状況を把握し、塗装ができる。		3

工芸高等学校校定時制 令和5年度 教科：（インテリア）科目：（Iプレゼンテーション実習I） 年間授業計画

教科：（インテリア）科目：（Iプレゼンテーション実習I）

単位数：（3）単位

対象：（第2学年I科）

教科担当者：

使用教科書：（インテリア計画等）

使用教材：（プリント）

	指導内容	科目の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	①色彩 色の働き ②文字のレタリング	①色について基本的な知識を身につける。 ②文字について理解し、伝えやすいデザインについて考えることができる。	<p>[評価の観点] 授業態度、教員の発問に対する受け答え、自発的な質問、課題の提出状況などを総合的に判断し、3観点により評価をする。 ・知識・技能 ・思考・判断・表現 ・主体的に学習に取り組む態度</p> <p>[評価方法] 1. 制作に取り組む態度 2. 学習内容の理解 3. 作品の完成度 4. 作品の提出状況</p> <p>等を総合的に考慮して評価を行う。</p>	5
5月	①色彩 色彩心理 ②文字のレタリング	①色について基本的な知識を身につける。 ②文字について理解し、伝えやすいデザインについて考えることができる。		12
6月	①色彩 色彩調和 ②家具製図 手書き	①色について基本的な知識を身につける。 ②図面から家具を理解し、表現方法を身につけることができる。		11
7月	①色彩 ファッション ②家具製図 手書き	①色について基本的な知識を身につける。 ②図面から家具を理解し、表現方法を身につけることができる。		4
8月				
9月	①インテリア計画 造形心理 ②家具製図 手書き	①面積計算、建ぺい率、容積率について ②わかりやすいプレゼンテーションボードを作成することができる。		8
10月	①インテリア計画 インテリアと人間工学 ②色彩表現 透明水彩	①面積計算、建ぺい率、容積率について ②わかりやすいプレゼンテーションボードを作成することができる。		11
11月	①インテリア計画 寸法計画と規模計画 ②色彩表現 透明水彩	①平面図、立面図、断面図について ②わかりやすいプレゼンテーションボードを作成することができる。		10
12月	①インテリア計画 各種空間の計画 ②色彩表現 透明水彩	①平面図、立面図、断面図について ②わかりやすいプレゼンテーションボードを作成することができる。		5
1月	①インテリア計画 各種空間の計画と演習 ②デザイン表現 名刺のデザイン	①今までの学んだことを生かした空間デザインの設計 ②わかりやすいプレゼンテーションボードを作成することができる。		10
2月	①インテリア計画 各種空間の計画と演習 ②デザイン表現 名刺のデザイン	①今までの学んだことを生かした空間デザインの設計 ②わかりやすいプレゼンテーションボードを作成することができる。		8
3月	①インテリア計画 プレゼンテーション ②デザイン表現 名刺のデザイン	①今までの学んだことを生かした空間デザインの設計 ②わかりやすいプレゼンテーションボードを作成することができる。		4

工芸高等学校校定時制 令和5年度 教科：（インテリア）科目：（インテリア製図） 年間授業計画

教科：（インテリア）科目：（インテリア製図）

単位数：（2）単位

対象：（第 2 学年1科）

教科担当者：

使用教科書：（インテリア製図 ）

使用教材：（プリント等 ）

	指導内容	科目の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	製図の基礎学習	三角法や線の用途、展開図を学び、書くことができる。	<p>[評価の観点] 授業態度、教員の発問に対する受け答え、自発的な質問、課題の提出状況などを総合的に判断し、3観点により評価をする。 ・知識・技能 ・思考・判断・表現 ・主体的に学習に取り組む態度</p> <p>[評価方法] 1. 制作に取り組む態度 2. 学習内容の理解 3. 作品の完成度 4. 作品の提出状況</p> <p>等を総合的に考慮して評価を行う。</p>	2
5月	製図の基礎学習	線や記号の用途を理解し、使用することができる。		4
6月	製図の基礎学習	断面図や寸法の表示方法を書くことができる。		8
7月	製図の基礎学習	三面図・立面図を理解し、線種や記号に注意して図面を書くことができる。		2
8月				
9月	手書きによる建築平面図の作成	線や記号の用途を理解して建築平面図を書くことができる。		4
10月	手書きによる建築平面図の作成	線や記号の用途を理解して建築平面図を書くことができる。		6
11月	手書きによる建築平面図の作成	建築物に合わせた家具やレイアウト図を書くことができる。		10
12月	CADによる建築製図図面の作成	パソコンのCADソフトを使って建築平面図を作成することができる。		2
1月	CADによる建築製図図面の作成	パソコンのCADソフトを使って建築平面図を作成することができる。		6
2月	CADによる建築製図図面の作成	パソコンのCADソフトを使って建築平面図を作成し、立体表示をすることができる。		6
3月				

工芸高等学校校定時制 令和5年度 教科：（インテリア）科目：（Iエレメント実習Ⅱ） 年間授業計画

教科：（インテリア）科目：（Iエレメント実習Ⅱ）

単位数：（4）単位

対象：（第 3 学年I科）

教科担当者：

使用教科書：（木材加工系実技教科書、インテリアエレメント生産等

使用教材：（プリント

	指導内容	科目の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	木工具の手入れ 鉋・鑿の手入れ状況を確認する。	今まで使用した木工具の手入れ(刃研ぎ)ができる。	授業態度(姿勢)提出物 (課題・ノート等)などを 総合して判断する。	4
5月	①木工機械の操作 ②課題のデザイン決め ③照明のデザイン決め	①木工機械の名称について理解させる。 ②課題について理解させ、自分のデザインを決める。 ③照明器具について理解させる。		12
6月	①棒材の墨付け ②板材の墨付け ③照明	①自分のデザインに合う木材を選択し墨付け作業ができる。 ②自分のデザインに合う木材を選択し墨付け作業ができる。 ③照明デザインに合う素材を決める。		16
7月	①棒材の加工 ②板材の加工 ③照明	①自分のデザインに合う木材を選択し墨付け作業ができる。 ②自分のデザインに合う木材を選択し墨付け作業ができる。 ③照明デザインに合う素材を決める。		4
8月				
9月	①棒材の加工 ②板材の加工 ③照明	①墨付け・手加工・機械加工作業ができる。 ②墨付け・手加工・機械加工作業ができる。 ③素材を理解し加工ができる。		12
10月	①棒材の加工 ②板材の加工 ③照明	①手加工・機械加工作業ができる。 ②手加工・機械加工作業ができる。 ③素材を理解し加工ができる。		16
11月	①棒材の加工 ②板材の加工 ③照明	①手加工・機械加工作業ができる。 ②手加工・機械加工作業ができる。 ③素材を理解し加工ができる。		20
12月	①棒材の加工 ②板材の加工 ③照明	①手加工・機械加工作業ができる。 ②手加工・機械加工作業ができる。 ③素材を理解し加工ができる。		6
1月	①棒材の加工仕上げ ②板材の加工仕上げ ③PC操作	①仮組みを行い、目地払いや素地調整ができる。 ②仮組みを行い、目地払いや素地調整ができる。 ③作品撮りを行い、ポートフォリオを作成することができる。		10
2月	①座面の加工仕上げ ②組立て・着色 ③PC操作	①座面素材を理解し、座面をつくることができる。 ②着色について理解し、着色することができる。 ③作品撮りを行い、ポートフォリオを作成することができる。		12
3月	①座面の加工仕上げ ②組立て・着色 ③PC操作	①座面素材を理解し、座面をつくることができる。 ②着色について理解し、着色することができる。 ③作品撮りを行い、ポートフォリオを作成することができる。		4

工芸高等学校定時制 令和5年度 教科：（インテリア）科目：（Iプレゼンテーション実習Ⅱ） 年間授業計画

教科：（インテリア）科目：（Iプレゼンテーション実習Ⅱ）

単位数：（4）単位

対象：（第 3 学年I科）

教科担当者：

使用教科書：（インテリア装備、インテリアエレメント生産等

使用教材：（プリント

	指導内容	科目の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	①プレゼンテーション力の向上1 ②建築計画を学び住宅・商店を設計1	①プレゼンボードを作成して、プレゼンテーション力を学ぶ。 ②建築計画を学び、住宅設計と店舗設計をする。	授業態度、提出物（作品）、発表を総合して判断する。	10
5月	①プレゼンテーション力の向上1 ②建築計画を学び住宅・商店を設計1	①プレゼンボードを作成して、プレゼンテーション力を学ぶ。 ②建築計画を学び、住宅設計と店舗設計をする。		10
6月	①プレゼンテーション力の向上1 ②建築計画を学び住宅・商店を設計1	①プレゼンボードを作成して、プレゼンテーション力を学ぶ。 ②建築計画を学び、住宅設計と店舗設計をする。		20
7月	①プレゼンテーション力の向上1 ②建築計画を学び住宅・商店を設計1	①プレゼンボードを作成して、プレゼンテーション力を学ぶ。 ②建築計画を学び、住宅設計と店舗設計をする。		2
8月				
9月	①住宅模型の制作 ②焦点模型の制作	①住宅設計をしたものを模型製作をする。 ②商店設計をしたものを模型製作をする。		18
10月	①住宅模型の制作 ②焦点模型の制作	①住宅設計をしたものを模型製作をする。 ②商店設計をしたものを模型製作をする。		12
11月	①住宅模型の制作 ②焦点模型の制作	①住宅設計をしたものを模型製作をする。 ②商店設計をしたものを模型製作をする。		16
12月	①住宅模型の制作 ②焦点模型の制作	①住宅設計をしたものを模型製作をする。 ②商店設計をしたものを模型製作をする。		6
1月	①住宅模型の制作 ②焦点模型の制作	①住宅設計をしたものを模型製作をする。 ②商店設計をしたものを模型製作をする。		8
2月	①プレゼンテーション力の向上2 ②プレゼンテーション力の向上3	①プレゼンボードとパワーポイントを作成して、自身で設計した住宅のプレゼンテーションをして、発表をする。 ②プレゼンボードとパワーポイントを作成して、自身で設計した商店のプレゼンテーションをして、発表をする。		12
3月	①プレゼンテーション力の向上2 ②プレゼンテーション力の向上3	①プレゼンボードとパワーポイントを作成して、自身で設計した住宅のプレゼンテーションをして、発表をする。 ②プレゼンボードとパワーポイントを作成して、自身で設計した商店のプレゼンテーションをして、発表をする。		8

工芸高等学校校定時制 令和5年度 教科：（インテリア）科目：（インテリア製図） 年間授業計画

教科：（インテリア）科目：（インテリア製図）

単位数：（3）単位

対象：（第 3 学年I科）

教科担当者：

使用教科書：（インテリア製図等）

使用教材：（プリント）

	指導内容	科目の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	①住宅設計製図 ②店舗設計製図	①ゾーニング・エスキース・平面図 ②ゾーニング・エスキース・平面図	授業態度（姿勢）提出物（作品等）・発表などを総合して判断する。	6
5月	①住宅設計製図 ②店舗設計製図	①ゾーニング・エスキース・平面図 ②ゾーニング・エスキース・平面図		15
6月	①住宅設計製図 ②店舗設計製図	①ゾーニング・エスキース・平面図 ②ゾーニング・エスキース・平面図		12
7月	①住宅設計製図 ②店舗設計製図	①ゾーニング・エスキース・平面図 ②ゾーニング・エスキース・平面図		1
8月				
9月	①住宅設計製図（CAD） ②店舗設計製図（CAD）	①3DCADによる住宅等の設計 ②3DCADによる店舗等の設計		7
10月	①住宅設計製図（CAD） ②店舗設計製図（CAD）	①3DCADによる住宅等の設計 ②3DCADによる店舗等の設計		9
11月	①住宅設計製図（CAD） ②店舗設計製図（CAD）	①3DCADによる住宅等の設計 ②3DCADによる店舗等の設計		12
12月	①住宅設計製図（CAD） ②店舗設計製図（CAD）	①3DCADによる住宅等の設計 ②3DCADによる店舗等の設計		7
1月	①住宅設計製図（CAD） ②店舗設計製図（CAD）	①3DCADによる住宅等の設計 ②3DCADによる店舗等の設計		9
2月	①住宅設計製図（CAD） ②店舗設計製図（CAD）	①3DCADによる住宅等の設計・ポートフォリオ ②3DCADによる店舗等の設計・ポートフォリオ		9
3月	①住宅設計製図（CAD） ②店舗設計製図（CAD）	①3DCADによる住宅等の設計・ポートフォリオ ②3DCADによる店舗等の設計・ポートフォリオ		4

工芸高等学校校定時制 令和5年度 教科：（インテリア）科目：（インテリア実習） 年間授業計画

教科：（インテリア）科目：（インテリア実習）

単位数：（4）単位

対象：（第 4 学年1科）

教科担当者：

使用教科書：（ ）

使用教材：（プリント ）

	指導内容	科目の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	①照明器具の制作 ②箸・スプーンの制作	①たくさんの照明を調べデザインを考える。 ②箸・スプーンのデザインを考える。	授業態度（姿勢）提出物 （作品等）・発表などを総 合して判断する。	8
5月	①照明器具の制作 ②箸・スプーンの制作	①たくさんの照明を調べデザインを考える。 ②箸・スプーンのデザインを考える。		20
6月	①照明器具の制作 ②箸・スプーンの制作	①たくさんの照明を調べデザインを考える。 ②箸・スプーンのデザインを考える。		12
7月	①照明器具の制作 ②箸・スプーンの制作	①たくさんの照明を調べデザインを考える。 ②箸・スプーンのデザインを考える。		4
8月				
9月	①照明器具の制作 ②箸・スプーンの制作	①たくさんの照明を調べデザインを考える。 ②箸・スプーンのデザインを考える。		8
10月	①照明器具の制作 ②箸・スプーンの制作	①たくさんの照明を調べデザインを考える。 ②箸・スプーンのデザインを考える。		12
11月	①照明器具の制作 ②箸・スプーンの制作	①たくさんの照明を調べデザインを考える。 ②箸・スプーンのデザインを考える。		16
12月	①ポートフォリオの作成1 ②ポートフォリオの作成2	①自分で制作した照明をポートフォリオにする。 ②自分で制作した箸・スプーンをポートフォリオにする。		10
1月	①ポートフォリオの作成1 ②ポートフォリオの作成2	①自分で制作した照明をポートフォリオにする。 ②自分で制作した箸・スプーンをポートフォリオにする。		12
2月				
3月				

工芸高等学校定時制 令和5年度 教科：(インテリア) 科目：(インテリア製図) 年間授業計画

教科：(インテリア) 科目：(インテリア製図)

単位数：(3) 単位

対象：(第 4 学年I科)

教科担当者：

使用教科書：(

使用教材：(プリント)

	指導内容	科目の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	①自由設計製図1	①空間デザインによる自由設計	授業態度(姿勢)提出物(作品等)・発表などを総合して判断する。	8
5月	①自由設計製図1	①空間デザインによる自由設計		13
6月	①自由設計製図1	①空間デザインによる自由設計		9
7月	①自由設計製図1	①空間デザインによる自由設計		6
8月				
9月	①インテリアコーディネーター演習	①インテリアコーディネーター演習 (立面図、展開図、パース図、アイソメ、アクソメ等)		12
10月	①インテリアコーディネーター演習	①インテリアコーディネーター演習 (立面図、展開図、パース図、アイソメ、アクソメ等)		11
11月	①PCでの図面操作	①CG等における自由設計・ポートフォリオ		10
12月	①PCでの図面操作	①CG等における自由設計・ポートフォリオ		7
1月	①PCでの図面操作	①CG等における自由設計・ポートフォリオ		8
2月				
3月				

工芸高等学校定時制 令和5年度 教科：（インテリア）科目：（課題研究） 年間授業計画

教科：（インテリア）科目：（課題研究）

単位数：（4）単位

対象：（第 4 学年1科）

教科担当者：

使用教科書：（ ）

使用教材：（プリント等 ）

	指導内容	科目の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	テーマ決め テーマをもとに、コンセプト等を決定して いく。	テーマをもとに取り組むべき内容を自分で考えることができる。	授業態度（姿勢）提出物 （作品等）・発表などを総 合して判断する。	6
5月	テーマ決め テーマをもとに、コンセプト等を決定して いく。	テーマをもとに取り組むべき内容を自分で考えることができる。		12
6月	設計 図面を製作し、加工法などを決定してい く。	設計、詳細図を描くことのできる。		10
7月	木取り 木取り作業及び加工（手押し鉋盤を使用） ステンボードを切り出す	木工機械を使い、木取り作業ができる。 図面通りにステンボードをカットすることができる。		6
8月				
9月	作品製作（墨付け・加工）	各部材の適切な加工方法を選択し、加工ができる。		12
10月	中間発表 製作途中の課題についてまとめる。	必要に応じて、NCルータによる加工のためのCAD図面が制作できる。		12
11月	様々な意見を基に課題の修正を行って いく。	進捗状況を把握し、課題を発見・訂正できる。		19
12月	課題の細部の加工及び鉋掛けによる仕上げ	鉋掛けのための刃研ぎができる。 模型家具の細かな所まで仕上げる ことができる。		6
1月	仕上げ 金具など最終的な取付作業を行う。	金具やキャスター等の取り付け方が理解できる。		14
2月	発表	自分が研究した成果を発表することができる。		4
3月				